

準備編

基本編

応用編

nexia

4200 ix Z MRC



使用説明書

ご使用前に必ずお読みください。

202B9991140



カメラの特長

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。この説明書の内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

■小型・軽量 4倍ズーム（22.5mm～90mm）
■フレアの少ないキレのいい写真が撮れる、スーパーEBCフジノンレンズ
■自然でキレイな写真が撮れるキレイ色フラッシュ、デジタルプログラム（DP）フラッシュ
■カートリッジぶたセーフティロック機能
■6種類の撮影モード
　デジタルプログラムフラッシュ／赤目軽減／強制発光／発光停止／
　遠景／夜景ポートレート（スローシンクロ）
■見やすい実像式ファインダー



このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

同梱品

この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。

- □ リチウム電池　CR2 1本（カメラにセット済み）
- □ ソフトケース　□ ストラップ
- □ リモートコントローラー
- □ 使用説明書　□ 保証書

目　次

● カメラの特長 ･･････････････････････････ 2
● 目　次 ････････････････････････････････ 3
● 安全にご使用いただくために ･･････････････ 4
● 各部の名称 ････････････････････････････ 6
液晶表示部 ･････････････････････････････ 8
ファインダー ･･･････････････････････････ 9
視度調節 ･･･････････････････････････････ 9
● APS対応機能 ･･････････････････････････ 10

準備編
ストラップを取り付けます ････････ 11
電池を入れます ････････････････････ 12
電源のON／OFF ･････････････････ 13
電池容量のチェック ･･････････････ 13
デート（年月日／時分）の合わせ方 ･･ 14
デートモードの選択 ･･････････････ 15

基本編
カートリッジフィルムを入れます ･･ 17
プリントタイプの切り替え ･････････ 20
さあいよいよ撮影です ････････････ 22
（構え方／ズーム／構図の決め方／
シャッターボタン半押し／全押し）
近距離撮影の場合 ････････････････ 25
AF（オートフォーカス）ロック撮影 ･･･ 27
カートリッジフィルムを取り出します ･･･ 29
カートリッジフィルム途中交換機能 ･･･ 30

応用編
撮影モードの選択 ････････････････ 34
フラッシュ撮影範囲 ･････････････ 35
セルフタイマー撮影 ･･････････････ 40
リモートコントロール撮影 ･････････ 42

● デジタルプログラムフラッシュについて ･･ 45
● このようなときは ･･････････････････････ 47
● 取扱上のお願い ････････････････････････ 50
● アフターサービスについて ･･････････････ 51
● 主な仕様 ･･････････････････････････････ 53

■この使用説明書の表記について

☞：参考になる情報などの記載

＊：注意などの記載

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

 絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。

 落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。

 カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。

 フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

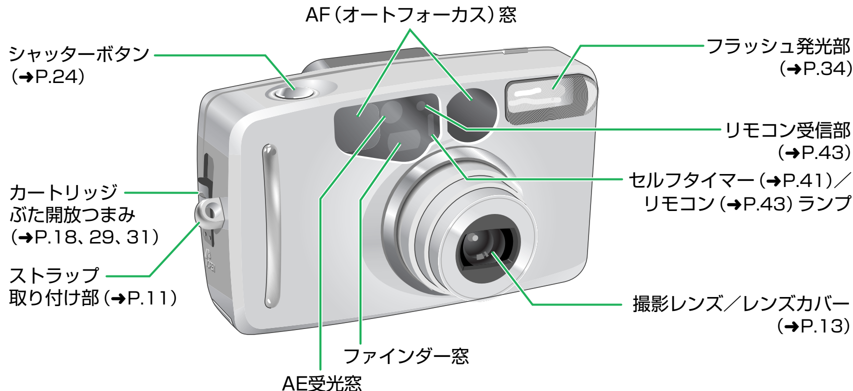
 カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。

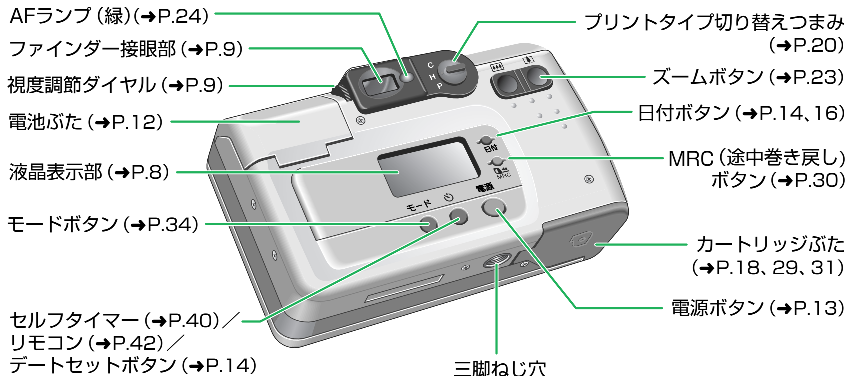
警告	
	引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。
	カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。
	電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。
	指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。
	電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

注意	
	カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。
	自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。
	電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

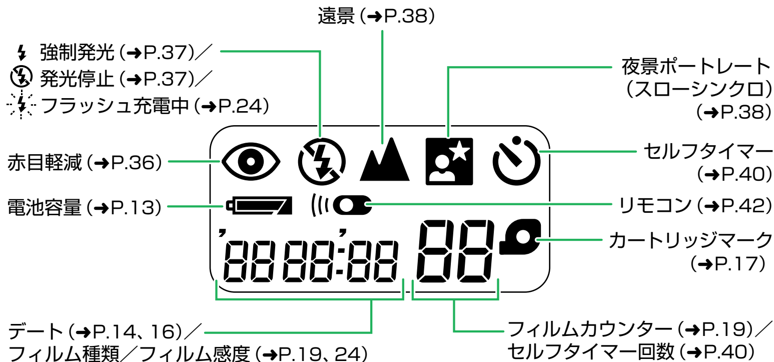
各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

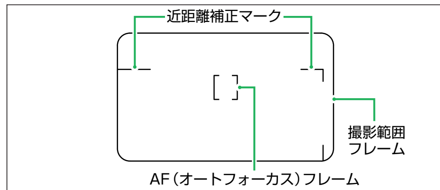



AFランプ（緑）（➜P.24）
ファインダー接眼部（➜P.9）
視度調節ダイヤル（➜P.9）
電池ぶた（➜P.12）
液晶表示部（➜P.8）
モードボタン（➜P.34）
セルフタイマー（➜P.40）／
リモコン（➜P.42）／
デートセットボタン（➜P.14）
三脚ねじ穴
プリントタイプ切り替えつまみ
（➜P.20）
ズームボタン（➜P.23）
日付ボタン（➜P.14、16）
MRC（途中巻き戻し）
ボタン（➜P.30）
カートリッジぶた
（➜P.18、29、31）
電源ボタン（➜P.13）
C
H
P
日付
MRC
電源
モード

〈液晶表示部〉（すべての表示が現れている状態）



〈ファインダー〉



撮影範囲フレーム

このフレーム内で構図を決めます。

☞プリントタイプの切り替えにより、フレームサイズは変化します（➜20ページ）。

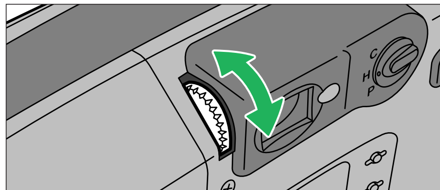
AF（オートフォーカス）フレーム

写したいもの（被写体）にこのフレームを合わせます。

近距離補正マーク

近距離撮影するときは、このマークを目安に構図を決めます（➜25ページ）。

〈視度調節〉



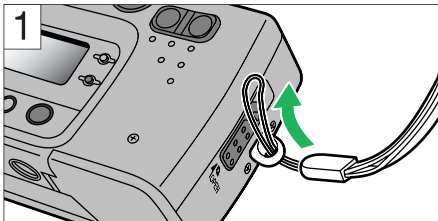
被写体がはっきりと見えない場合は、望遠側いっぱいにズーム（➜23ページ）してファインダーをのぞき、約3m離れた被写体がはっきり見えるように視度調節ダイヤルを回してください。

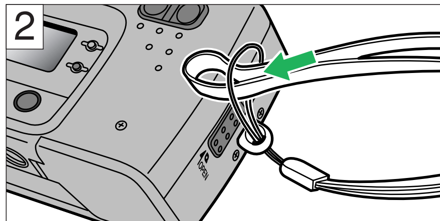
APS対応機能

このカメラは、APSの様々な機能に対応できます。

■ 1本のフィルムを途中で取り出して、また撮影できるMRC（カートリッジフィルム途中交換）機能
■ フィルム装てんは失敗のない、カートリッジ、ポンのワンタッチドロップインローディング方式
■ 撮影途中でもプリントタイプ、C／H／P 切り替え可能（見やすい実像式ファインダー）
■ 撮影した全コマが1枚で見られる、インデックスプリント
■ プリント表裏に入る、両面データ
■ フィルムに撮影時の情報が磁気記録され、プリントの品質向上に役立つ、PQI

ストラップを取り付けます





ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

電池を入れます ＊工場出荷時に電池はセットされています。

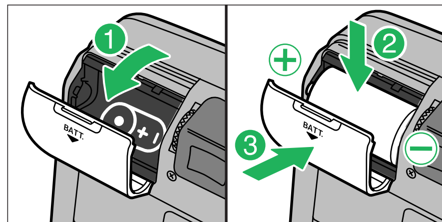
■使用する電池
★リチウム電池　フジフイルムエバレディ CR2 1本

撮影前には必ず電池容量をチェックしてください
(➜13ページ)。

＊電池を交換した場合には必ずデートを合わせてください
(➜14ページ)。

＊リチウム電池は約450コマ撮影できます(当社試験条件による)。

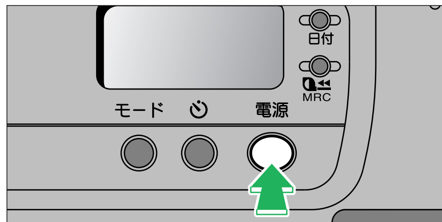
＊旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。



❶電池ぶたを開けます。
❷表示に従って、電池をかたむけずにまっすぐ押し込んで入れます。
❸電池ぶたを閉めます。

＊電池ぶたに無理な力を加えないでください。

電源のON／OFF



電源ボタンを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。

☞電源を入れるとレンズカバーが開き、液晶が表示されます。

＊電源を入れたまま約7分間放置すると、電源は自動的に切れます。

電源を入れるときに、レンズ部を指で押さえないでください。

電池容量のチェック

❶ ：点 灯

❷ ：点 灯

❸ ：点 滅

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。

❶電池の容量はOKです。

❷電池の容量が不足しています。新しい電池を準備してください。

❸電池容量がなくなったため、シャッターは切れません。新しい電池と交換してください。

＊撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。

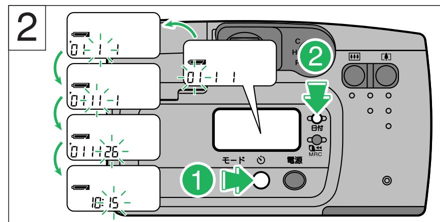
＊電池の交換は撮影途中のカートリッジが入っていても可能です。

デート（年月日／時分）の合わせ方 ＊工場出荷時にデートはセットされています。



電源を入れて、日付ボタンを2秒以上押し続けます。
☞“年” が点滅し、デート修正モードになります。

■設定範囲
年：’99〜’29（1999年〜2029年）
月：1〜12　　　日：1〜31
時：0〜23　　　分：00〜59



❶ボタンを押して、点滅している数字を修正します。
❷日付ボタンを押すと、次の設定項目に移ります。
☞“年” → “月” → “日” → “時” → “分” の順に項目が移ります。



"分" を合わせたら、日付ボタンを押してデート合わせを終了します。

☞時報に合わせたいときは、時報のゼロ秒時に日付ボタンを押します。

＊"年月日" は "時分" に連動して変わります。

デートモードの選択



APSでは

デート（年月日／時分）はアルバムにはっても見える表と整理に便利な裏に印字されます。

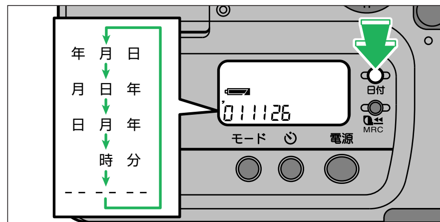
＊表面の印字は、お店によっては対応できない場合がありますので、お店にご確認ください。
＊表面に印字されたデート表示が、背景によっては見えにくくなる場合があります。
＊焼き増し時にデートを入れないなどの変更も可能です（お店によっては対応できない場合がありますので、お店にご確認ください）。

デートモードの選択



電源を入れて日付ボタンを押すと、デートモードを選択できます。

☞選択したモードが撮影時に記録され、プリントに印字されます。

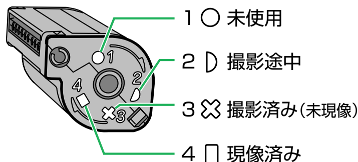


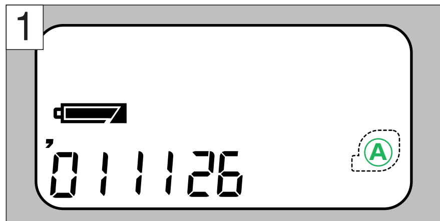
デートモードは図のように切り替わります。

＊“------”を選択すると、裏面にのみデート（年月日）が印字されます。

＊デート合わせを行うと、デートモードは“年月日”の順になります。デートを合わせたら、デートモードを選択し直してください。

カートリッジフィルムを入れます





APSでは

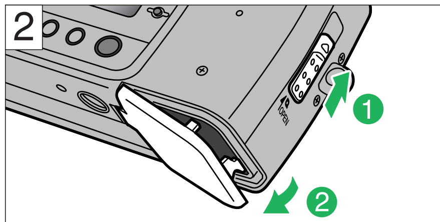
IX240カートリッジフィルム(以後カートリッジ)を使用します。

カートリッジに1の○または2の◗が白く表示されていることを確認してください。✕ ▯が白くなっているカートリッジでは撮影できません(光学式誤装てん防止機能)。

電源を入れて、Ⓐ部に“ ”が表示されていないことを確認します。

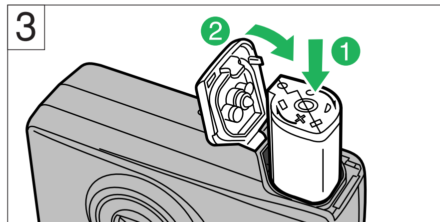
＊“E”と“ ”が表示されているときは、カートリッジを取り出してください(➔29ページ)。

＊フィルムカウンターと“ ”が表示されているときは、カートリッジぶたを開放できません(セーフティロック機能)。カートリッジを交換する場合は、30ページをご参照ください。



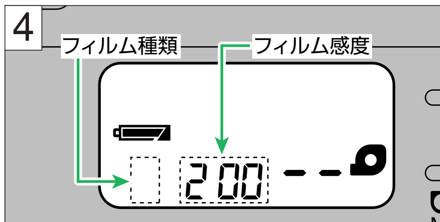
❶カートリッジぶた開放つまみを動かします。
❷カートリッジぶたを開けます。

＊カートリッジぶたに無理な力を加えないでください。



❶カートリッジを落とし込みます。
❷カートリッジぶたを閉めます。

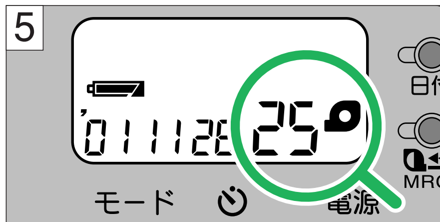
☞フィルムが自動的に送られます。



1コマ目にセットされるまでの間、フィルム種類とフィルム感度が表示されます。

■フィルム種類表示

カラーネガ	リバーサル	黒　白	その他
表示なし	P	b	o

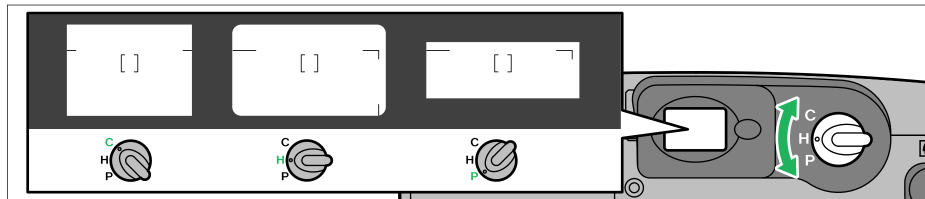


フィルムカウンター（カートリッジの規定撮影枚数）と“ ”の表示を確認します。

＊撮影済みまたは現像済みのカートリッジを入れると、“E”と“ ”が点滅します。カートリッジを取り出してください（➜29ページ）。

基本編

プリントタイプの切り替え



APSでは

3つのプリントタイプ（C／H／P）を切り替えることができます。

プリントタイプ切り替えつまみで、プリントタイプを切り替えます。

☞撮影範囲フレームが切り替わります。撮影画角は変わりません。

Cタイプ（2：3）



Hタイプ（9：16）



Pタイプ（1：3）



＊（　）内は縦横比です。





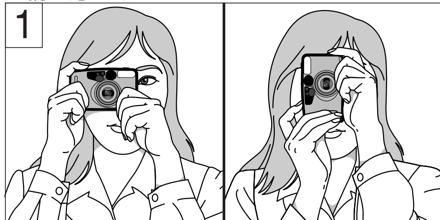


Cタイプ 約16mm×23mm	Hタイプ 約16mm×28mm	Pタイプ 約10mm×28mm

プリントタイプが撮影ごとにフィルムに記録され、上図範囲がプリントされます。また、どのプリントタイプで撮影してもフィルムに写るサイズは一定（16.7mm×30.2mm）のため、焼き増し時にプリントタイプを変更することができます。

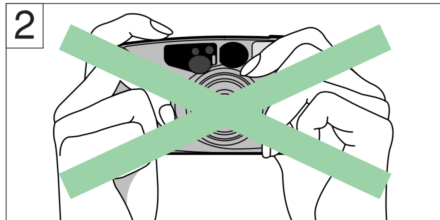
さあいよいよ撮影です

＜構え方＞



電源を入れ両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。

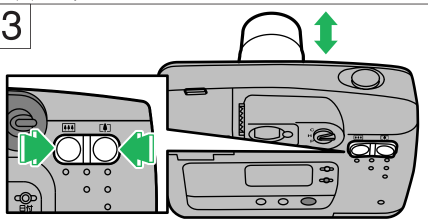
☞縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。



レンズやフラッシュ発光部、AF・AE窓に、指やストラップが掛からないようにしてください。

> 大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。

<ズーム>



被写体を大きく写したいときは、ズームボタンの マーク側を押して望遠側にズームします。広い範囲を写したいときは、 マーク側を押して広角側にズームします。

＊撮影できる距離は、0.69m〜∞です。

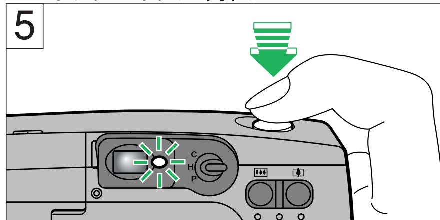
<構図の決め方>



AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

さあいよいよ撮影です

＜シャッターボタン半押し＞

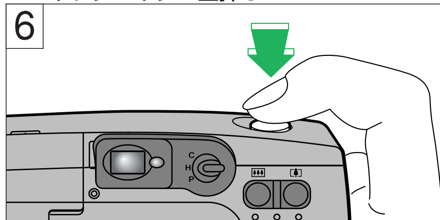


シャッターボタンを半押しします。

☞AFランプ（緑）が点灯すれば、ピント合わせは完了です。
☞液晶表示部にフィルム種類とフィルム感度が表示されます（➜19ページ）。

＊被写体に約65cmより近づくと、AFランプが点滅しピントが合わないことを警告します。さらに約40cmより近づくと、AFランプは点灯することがありますが、ピントが合いません。

＜シャッターボタン全押し＞

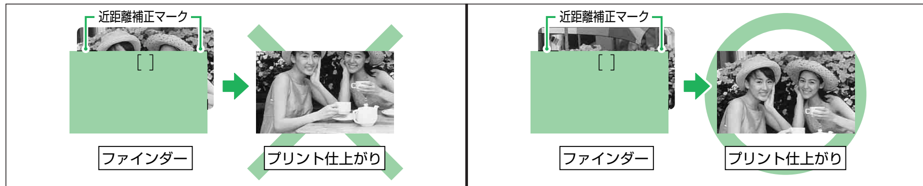


シャッターを切ります。

☞フラッシュが発光し、フィルムが次のコマまで送られます。
☞フィルムカウンターの数字は撮影のたびに1コマずつ減っていきます。

＊被写体がとても明るく遠すぎる場合、フラッシュは発光しません。
＊AFランプ、セルフタイマー/リモコンランプは、いったん消えてからシャッターが切れた直後にもう1回点灯します。
＊フラッシュ充電中（液晶表示部の“ϟ”点滅中）はシャッターは切れません。

近距離撮影の場合



撮影距離が約1.5mより近い場合は、上図の　範囲が写ります。撮りたいものが　の範囲内に収まるように構図を決めます。

近距離撮影では、ファインダー窓から見える範囲と写る範囲にズレが生じます（ファインダー窓と撮影レンズの位置が違うため）。近距離補正マークは、ファインダー窓から見える範囲と実際に写る範囲の目安になります。

◆AFの苦手な被写体について◆

次のような場合、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、AFロック撮影(➜27ページ)、遠景モード撮影(➜38ページ)を行ってください。

- 被写体の近くに太陽などの明るい光源や反射光(車のフロントガラス、波の反射など)がある場合
- 画面の中央部付近に鏡、金属面などの反射面がある場合
- 髪の毛など黒くて光を反射しにくい被写体の場合
- 炎や煙などのように実体のないものの場合
- ガラス越しの撮影の場合

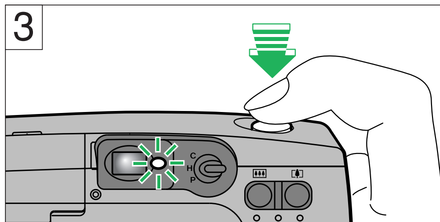
AF（オートフォーカス）ロック撮影



このような構図ではAFフレームが被写体（この場合は人物）から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。



AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。



そのままシャッターボタンを半押し（AFロック）します。

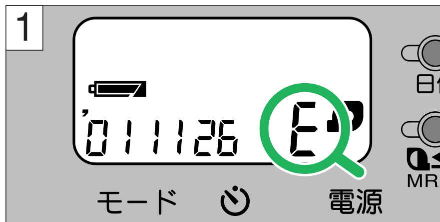
☞AFランプ（緑）の点灯を確認します。



シャッターボタンを半押し（AFロック）したまま最初の構図に戻して、シャッターを切ります。

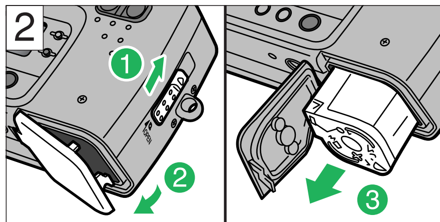
＊AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

カートリッジフィルムを取り出します



最後の1コマを撮り終わると、フィルムが自動的に巻き戻されます。

必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してください。“E”が表示される前にカートリッジぶたを開けようとすると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがありますのでご注意ください。



❶カートリッジぶた開放つまみを動かします。
❷カートリッジぶたを開けます。
❸カートリッジを取り出します。

☞カートリッジに3の(撮影済み)が白く表示されます。

＊カートリッジぶたに無理な力を加えないでください。

基本編

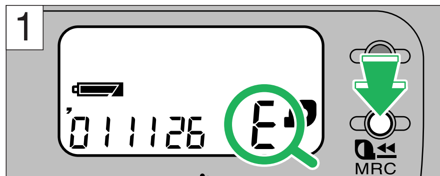
カートリッジフィルム途中交換機能



APSでは

撮影の途中でも別のカートリッジと交換できます。一台のカメラを家族で交互に使いたいときや、趣味の写真と仕事で必要な写真とを撮り分けたいとき、また感度に応じてカートリッジを使い分けたいときなどに便利です。

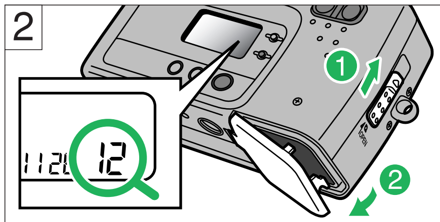
撮影途中でカートリッジを取り出すには



MRCボタンを押します。

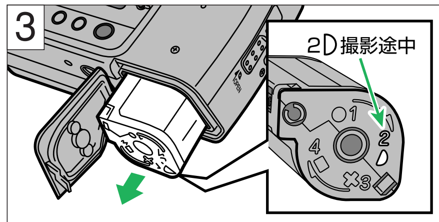
☞巻き戻しが完了すると、“E”が表示されます。

必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してください。“E”が表示される前にカートリッジぶたを開けようとすると、カメラが故障したり、フィルムが感光する恐れがありますのでご注意ください。



❶カートリッジぶた開放つまみを動かします。
❷カートリッジぶたを開けます。

☞カートリッジぶたを開けると、カートリッジの撮影残数が表示されます。



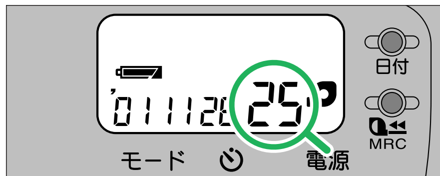
カートリッジを取り出します。

☞カートリッジに2のD(撮影途中)が白く表示されます。

基本編

カートリッジフィルム途中交換機能

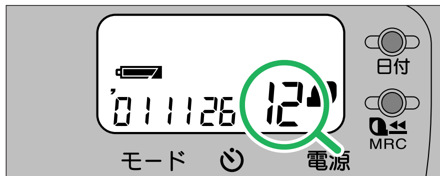
新しいカートリッジを入れた場合



新しいカートリッジ（◯表示）を入れます。

☞1コマ目まで自動的に送られます。
☞カートリッジの規定撮影枚数が表示されます。

撮影途中のカートリッジを入れた場合



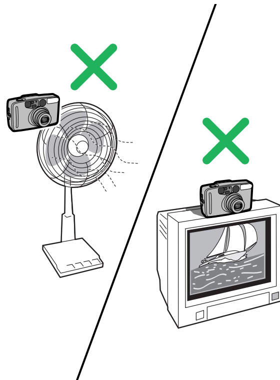
撮影途中のカートリッジ（◗表示）を入れます。

☞撮影途中のコマまで自動的に送られ、続きから撮影できます。
☞カートリッジの撮影残数が表示されます。

＊取り出しておいたカートリッジの撮影残数が分からなくなっても、カメラに装てんすると自動的に残数がセットされます。

◆途中交換機能についてのご注意◆

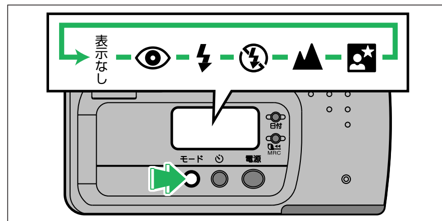
- 途中で取り出したカートリッジ（D表示）を再びカメラに装てんしたとき、フィルムカウンターに“E”が点滅した場合には、次のような場所を避け、カートリッジをもう一度入れ直してください。
  - ドライヤー、扇風機、掃除機などの回転しているモーターの近く
  - 作動中のTVやパソコンのディスプレイのそば
- 途中で取り出したカートリッジを途中交換機能を持たないカメラに装てんすると、撮影済みの状態（✕表示）になり、再撮影できなくなります。
- 途中交換機能のないカメラで途中巻き戻ししたカートリッジ（✕表示）は、このカメラに装てんしても再撮影できません。
- 撮影途中で取り出したカートリッジ（D表示）でも、現像所に出すとすべて現像されてしまい、再撮影できなくなります。再撮影したいときは、未撮影のコマを撮り終わってから現像に出してください。



撮影モードの選択

このカメラは、以下の6種類の撮影モードが用意されています。被写体に応じた撮影を楽しむことができます。

(表示なし) デジタルプログラムフラッシュモード
( ) 赤目軽減モード
( ) 強制発光モード
( ) 発光停止モード
( ) 遠景モード
( ) 夜景ポートレート(スローシンクロ)モード



モードボタンを押すと、撮影モードを選択できます。

☞表示なし→ → → → → の順に切り替わります。

- デジタルプログラムフラッシュモード、赤目軽減モードは、電源が切れても保持されます。
- 強制発光モード、発光停止モード、遠景モード、夜景ポートレートモードは、電源が切れると自動的に解除されます。

遠景モード／夜景ポートレートモードを連続してご使用になる場合は、各モード選択時に各マークが点灯から点滅に変わるまで、約2秒間モードボタンを押し続けてください。モードは撮影後も保持され、続けて撮影することができます。電源が切れると自動的に解除されます。

フラッシュ撮影範囲

フィルム感度によってフラッシュ光の届く範囲が異なります。暗いところではフラッシュ撮影範囲に注意して撮影してください。

■フラッシュ撮影距離

フィルム感度	広角（22.5mm）	望遠（90mm）
ISO 100	0.69 ～ 3.0	0.69 ～ 2.2
ISO 200	0.69 ～ 4.0	0.69 ～ 3.2
ISO 400	0.69 ～ 6.0	0.69 ～ 4.4
ISO 800	0.69 ～ 8.0	0.69 ～ 6.2

（カラーネガフィルム使用時　単位：m）

表示なし デジタルプログラム（DP）フラッシュモード



通常の撮影に使用します。

被写体の明るさ、距離、ズーム倍率に応じて、フラッシュの光量を自動的に調節します。

＊被写体がとても明るく遠すぎる場合、フラッシュは発光しません。

＊DPフラッシュの詳しい内容は、45、46ページをご参照ください。

赤目軽減モード



赤目現象を軽減します。

撮影前にフラッシュが10回プレ発光し、11回目に撮影のためのフラッシュが発光します。

プレ発光から撮影のためのフラッシュ発光まで、AFランプは点灯し続けます。AFランプ点灯中はカメラを動かさないでください。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、フラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用すると共に、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

ϟ 強制発光モード



窓際や木陰などの逆光撮影に使用します。

明るいところでもフラッシュが発光します。

発光停止モード



室内照明を利用しての撮影、舞台や室内競技などのフラッシュ光が届かない距離での撮影などに使用します。

フラッシュの発光を停止します。

＊暗い場所で撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

遠景モード



風景をきれいに撮りたいときや、ガラス越しの遠景や遠い夜景の撮影などに使用します。

ピントが遠方にセットされます。フラッシュは発光しません。

＊1回の撮影ごとに自動的に解除されます。
＊暗い場所で撮影するときは、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

夜景ポートレート（スローシンクロ）モード



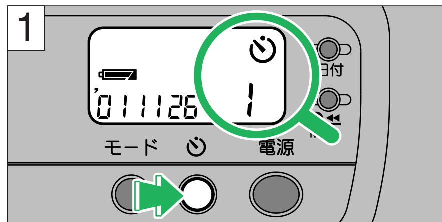
夜景をバックにした人物を撮影するときに使用します。

スローシャッターの赤目軽減モード（プレ発光10回後フラッシュ発光）になり、夜景と人物の両方をきれいに撮影することができます。

＊1回の撮影ごとに自動的に解除されます。

夜景ポートレートモードでは、スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため必ず三脚を使用してください。また、撮影中は撮られる人も動かないでください。

セルフタイマー撮影



⏲ボタンを押します。

☞セルフタイマー撮影は、連続撮影回数（3回まで）を選択できます。

☞⏲1→⏲2→⏲3→((●の順に切り替わります。

＊"((●"はリモコンモードです（➜42ページ）。

＊セルフタイマーモードでは、撮影モードも選択可能です。

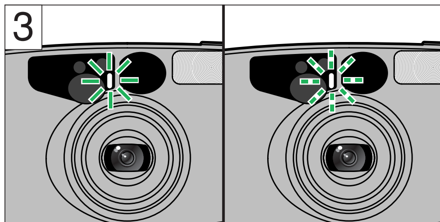


構図を決めて、シャッターボタンを押します。

☞AFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーがスタートします。

＊AFロック撮影も可能です（➜27ページ）。

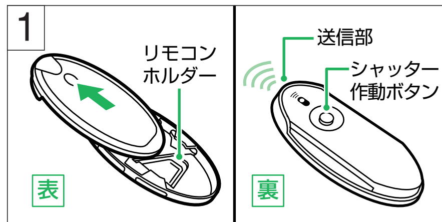
カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。

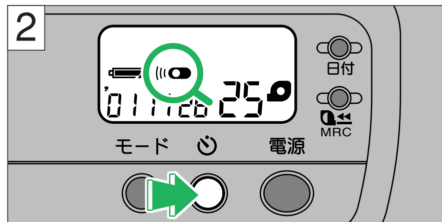


セルフタイマーランプが約7秒間点灯した後点滅に変わり、約3秒後にシャッターが切れます。
連続撮影を選択した場合には、3～6秒間隔で選択した回数の撮影が行われます。

- スタートしたセルフタイマーモードを解除したいときは、タイマーボタンを押してください。
- セルフタイマーモードは、撮影後または電源が切れると自動的に解除されます。

リモートコントロール撮影





矢印の方向にリモコンをスライドさせて、リモコンホルダーから外します。

＊リモコンをリモコンホルダーに戻すときは反対方向にスライドさせ、カチッと音がするまで押し込んでください。

ボタンを4回押して“ ”を表示します。

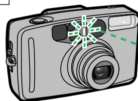
＊リモコンモードは、セルフタイマーモードの後に表示されます。

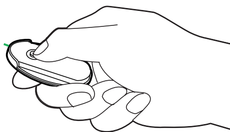
＊リモコンモードでは、撮影モードも選択可能です。



3

AFフレームを撮りたいものに合わせて、構図を決めます。

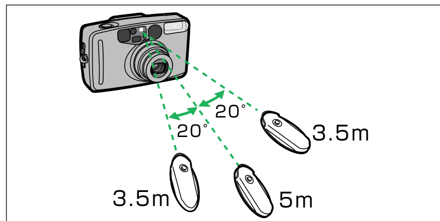




4

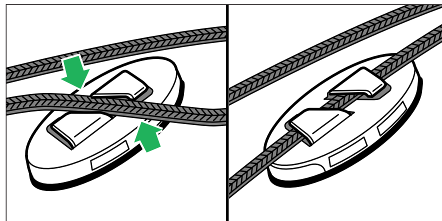
❶リモコンをカメラのリモコン受信部に向けて、シャッター作動ボタンを押します。
❷リモコンランプが点滅し、約2秒後にシャッターが切れます。

リモコンモードは撮影後も解除されません。電源が切れると自動的に解除されます。



リモコン操作が可能な範囲は、カメラ正面で約5m以内、上下左右各20°で約3.5m以内です。

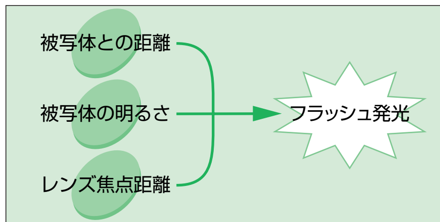
＊リモコン撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
＊逆光撮影時にカメラのリモコン受信部に直射日光が入っていると、リモコン撮影ができない場合があります。そのようなときは、セルフタイマーを使用してください。



カメラのストラップにリモコンホルダーを取り付けておくと便利です。

＊電池の寿命は約3年です（当社試験条件による）。リモコン撮影ができなくなったら、ご購入店または富士フイルムサービスステーションにお申し出ください。有償にて電池交換いたします。

デジタルプログラムフラッシュについて





デジタルプログラム(DP)フラッシュとは

被写体との距離や明るさ、さらにレンズの焦点距離の3つの情報から撮影の状況をカメラが判断し、フラッシュの発光光量を自動的に調節する新しい機能です。被写体が明るく遠すぎる場合以外は常に自動発光。誰でも簡単に美しい写真を撮れるようにプログラムされたフラッシュです。
具体的な例を挙げてその効果をご説明します。

◆ 室内や夜の近接撮影時

周囲が暗いところで近距離で撮影すると、一般的なフラッシュでは100%の光量で発光してしまうため、被写体が白く飛んでしまうことがあります。DPフラッシュでは最大で通常の12.5%まで光量を落とし、被写体の“白飛び”を防ぎます。

デジタルプログラムフラッシュについて



◆ 高輝度でのポートレート撮影時

天気の良い日に人物撮影をすると、髪の毛や鼻の影で顔がまだら模様になりがちです。DPフラッシュはこのようなとき、フラッシュが自動発光して影を軽減します。明るいのに発光するのは無駄に思われるかもしれませんが、プリントを比較していただければその効果をご理解いただけると思います。



◆ 逆光撮影時

窓際や、太陽光を背に受けて撮影すると、被写体が影になり黒くアンダーに写ることがあります。DPフラッシュはこのような場合も、フラッシュが自動的に最適な光量を発光させることで、美しい写真が得られます。

このようなときは

操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
カートリッジを入れてカートリッジぶたを閉めたが、“E”“◘”が点滅している。	●撮影済みまたは現像済みのカートリッジを入れませんでしたか。	●カートリッジを取り出して、未使用または未撮影のコマが残っているカートリッジを入れてください。	17ページ
シャッターが切れない。	①“▭”が点滅していませんか。	①新しい電池に交換してください。	13ページ
	②電源は入った状態にセットされていますか。	②**電源**ボタンを操作して、撮影可能な状態にセットしてください。	13ページ
	③“ϟ”が点滅していませんか。	③フラッシュ充電中です。“ϟ”が点滅から点灯に変わるまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約5秒）。	24ページ
	④“E”が表示されていませんか。	④カートリッジを取り出して、未使用あるいは未撮影のコマが残っているカートリッジを入れてください。	17ページ

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
カートリッジぶたが開けられない。	●撮影途中のカートリッジを取り出そうとしていませんか。	●MRCボタンでフィルムを巻き戻してください。モーターが止まり“E”が表示されたことを確認してからカートリッジを取り出してください。	30ページ

プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面がぼんやりしている。	①AF窓をかくして撮影しませんでしたか。 ②被写体のねらい方は適切でしたか。 ③レンズが汚れていませんか。 ④カメラのブレではありませんか。	①AF窓をかくさないようにカメラを正しく構えて撮影してください。 ②AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影をしてください。 ③レンズをきれいにしてください。 ④カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。スローシャッター時は三脚を使用してください。	22ページ 27ページ 50ページ 22ページ

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面がぼんやりしている。	⑤近距離撮影時に▲モードで撮影していませんか。	⑤▲モード以外で撮影してください。	34ページ
画面が暗い。	①暗い場所でのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんか。 ②フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。	①規定のフラッシュ撮影範囲内で撮影してください。 ②フラッシュ発光部に指を掛けないでください。	35ページ 22ページ
デート（日付／時間）が合っていない。	●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、日付と時間を修正してください。	14ページ
表面にデートが印字されていない。	①デートモードを“------”にして撮影しませんでしたか。 ②表面の印字はプリントサービス対応していないお店があります。	①“------”以外のデートモードを選択して撮影してください。 ②お店にご相談ください。	16ページ

取扱上のお願い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②カメラケースに入っていても、落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
2. APSでは、フィルムに磁気で情報を記録していますので、カートリッジやカートリッジが装てんされたカメラを強い磁気が発生する場所に近づけないでください。
3. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
4. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
5. 閉めきった自動車の中などに長時間放置しないでください。
6. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
7. レンズ、AF窓、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
8. このカメラの使用温度範囲は－10℃～＋40℃です。
9. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、裏面記載のお近くの弊社営業所やサービスステーションをご利用ください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。
なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

● 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは12,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

● 海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外支店または各国の富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外支店、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

使用フィルム	IX240カートリッジフィルム
画面サイズ	16.7mm×30.2mm
プリントタイプ	C／H／P切り替え式
レンズ	スーパーEBCフジノンレンズ　8群8枚構成　f=22.5mm～90mm　1：5.6～1：9.8
ファインダー	実像式ズームファインダー　0.36倍～1.26倍　C／H／P切り替え式　AFフレーム 近距離補正マーク　AFランプ　視度調節（Dp：－3.0～＋1.0）
距離調節	アクティブオートフォーカス　0.69m～∞　AFロック付き 遠景モード（レンズ遠距離セット、フラッシュ発光停止） AFランプ（点灯：撮影距離OK、点滅：撮影範囲外警告）
シャッター	プログラム式電子シャッター（1秒～1/500秒）
露光調節	自動調節 連動範囲（ISO 200）W：EV10（＊7）～17 T：EV12.8（＊7）～18（＊はフラッシュ発光停止時）
フィルム感度	自動設定（データディスク方式による）　ISO 25～3200
フィルム装てん	ワンタッチドロップインローディング方式　セーフティロック機能付き　光学式誤装てん防止機能
フィルム給送	電動式　自動巻き上げ　自動巻き戻し　途中巻き戻し可能　フィルム途中交換機能

主な仕様

フラッシュ	ズーム式デジタルプログラムフラッシュ　充電時間：約5秒 デジタルプログラムフラッシュモード／赤目軽減モード／強制発光モード／発光停止モード／夜景ポートレート（スローシンクロ）モード
セルフタイマー	電子式　3コマ連写可能　作動時間：約10秒　途中解除可能　セルフタイマーランプ付き
液晶表示	フィルムカウンター　カートリッジマーク　撮影モード　セルフタイマーモード　リモコンモード デート　フィルム種類　フィルム感度　電池容量　フラッシュ充電中
データ記録	磁気記録方式　各コマごとに記録　デート　プリントタイプ　PQI（プリント品質向上）情報
電源	リチウム電池　CR2　相当品1本
その他	三脚ねじ穴付き　リモコン対応
大きさ・重さ	106.0mm×63.5mm×39.0mm（突起部除く）　190g（電池別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

Memo

FUJIFILM 富士写真フイルム株式会社

●本製品についてのお問い合わせは…

富士フイルム札幌営業所	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL (011) 218-5575
富士フイルム仙台営業所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL (022) 216-6960
富士フイルム東京販売部	〒106-8620 東京都港区西麻布2-26-30	TEL (03) 3406-2387
富士フイルム名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル	TEL (052) 203-5262
富士フイルム大阪支社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL (06) 6205-6421
富士フイルム広島営業所	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL (082) 250-0755
富士フイルム福岡営業所	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL (092) 281-0255

●修理の受付は…

札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL (011) 222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL (022) 265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL (03) 3436-1315
富士フォトサロン・東京	〒104-0061 東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL (03) 3571-9411
新　潟：富士フイルムサービスステーション	〒951-8067 新潟市本町通7番町1153 本町通ビル	TEL (025) 223-7731
金　沢：富士フイルムサービスステーション	〒920-0864 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル	TEL (076) 263-3466
静　岡：富士フイルムサービスステーション	〒420-0859 静岡市栄町1-5 殖産ビル	TEL (054) 255-2465
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL (052) 202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL (06) 6260-0915
富士フォトサロン・大阪	〒530-0001 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL (06) 6346-0222
高　松：富士フイルムサービスステーション	〒760-0015 高松市紫雲町3-1 香西第2マンション	TEL (087) 834-8355
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL (082) 256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL (092) 281-4863
鹿児島：富士フイルムサービスステーション	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル	TEL (099) 226-2515

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。

●東京：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。ただし、受け渡し業務のみとなります。

●富士フォトサロン・東京、大阪は受け渡し業務のみです。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL (03) 3406-2981

Printed in Indonesia

FGS-103103-Ci-01